

ベガルタ仙台磯田:定刻となりましたので、社長から本日の開会のあいさつ、ミーティングの趣旨などを説明させていただきます。

ベガルタ仙台板橋:皆さん、こんにちは。ベガルタ仙台の社長を務めております、板橋でございます。本日はお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。このクラブミーティング、今日、第3回目ということであります。去年2回開催をいたしました。本日もアウェイの鳥栖戦、アウェイの開幕戦を前にして、このタイミングで開催させていただいております。シーズン開幕前ということもありまして、このあと順次進めてまいりますけれども、2025 シーズンに対する現状の編成の考え方。これを庄子春男ゼネラルマネージャーから、そして、2025 シーズンのチームの戦い方、その意気込みについて、森山佳郎監督から順次、このあとビデオメッセージを流す形で皆様にご説明をさせていただきます。そのあと、これもご案内でございますけれども、2025 シーズンは6月まで現状のユアテックススタジアムの芝の貼り替え工事で使えまませんので、利府のキューアンドエースタジアムでの開催になります。昨年、公表してから多くの方々にいろいろアクセスの問題だとか、駐車場がどうの、シャトルバスがどうのと、大変関心を持っていただいております。われわれも大きな課題を持って、これに対応してまいりました。現状、大きく改善した部分もいくつかありますので、そのユアテックススタジアムじゃない、みやぎスタジアムでの開催に合わせて、こういう対応をしましたというところをご説明させていただきます。そのあと、これは、これまで毎試合、お客様からアンケートを採らせていただいております。その中で一番多いのが、やはり列整理の問題についてのご指摘が非常に多いということです。もちろん、夏の暑さ、冬の寒さ、雨風、そういうところで長時間、列を作って待つのは大変だという、もっともなご意見もありまして、これを何とかできないのかというのがほとんど毎試合ご指摘をいただいております。実は、簡単な問題ではないとは思っておりますけれども、ほかのクラブでじゃあどうやって対応してるのかっていうふうに調べてみますと、クラブによってばらばらではありますけれども、それぞれ独自の工夫をしているところもあります。その中には、やはり自由席で並ぶ、そういうニーズもある一方で、なるべく並ばないで入りたいというニーズもあります。もちろん指定席買えばいいじゃないかという話にな

るわけですが、自由席でかつ並ばないで入りたいという、なかなか難しいご要望もありまして、その辺りをどうやって対応するか。いろいろ考えますけれども、現状でこれはという決定的な解決策があるわけではございません。ただ、いくつかのクラブでは、極端に言えば100%指定席化して、列整理そのものを不要にするという取り組みをしているクラブもあります。もちろん自由席でやっているメリットを強調する方も多くいらっしゃいます。現状で、われわれ、どちらがいいと決めているわけでもありません。ただ、多くの方々の意見がかなりばらけているというのが正直なところですよ。今回のアンケートを採った背景もそこにありまして、結果としては、時間、場所、それから料金。いろんな論点が出てきたっていうのが、今回のアンケートの一つの成果であります。ただ、その一つ一つについて、真逆のご意見というのも多数ありまして、なかなか簡単に整理はできないというのが現状の認識であります。今後に向けて、今日ここで何か結論を出すという会ではありませんので、得られたアンケートの内容をご説明しながら、今後の検討に向けて、皆様方から忌憚のないご意見をいろいろ伺って、それを踏まえて、われわれとして何ができるか、また検討を進めていきたいという、そういう趣旨でございます。

それから3点目が、このユアテックスタジアムのスタジアムの管理、それから、七北田公園にあります体育館の管理。これが指定管理で公募をされておりました。私どもベガルタ仙台を代表企業とするコンソーシアムで、その審査会に応募をしました。結果的にわれわれの提案が採用されまして、4月以降、われわれが指定管理者になるということになりましたので、その概要についても併せてご説明をさせていただく。本日、大きくこの3点になります。時間も限られますけれども、できるだけ多くの方々に忌憚のないご意見をいただきたい趣旨でございますので、どうぞよろしくお願いをいたします。開会にあたりまして、簡単ですけれども、以上をあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

磯田：ありがとうございます。引き続きまして、トップチームからのビデオメッセージということで、まずは庄子GMからのメッセージをお願いします。

ベガルタ仙台庄子：クラブミーティングのご参加の皆様、こんにちは。ベガルタ仙台の庄子です。去年は、プレーオフ決勝まで、本当に最後の最後まで一緒に戦

っていただきまして、誠にありがとうございます。残念ながら、結果のほうは悔しい結果となりました。ただ、今年はリベンジの年です。目標は J1 昇格。ここに向けてしっかりと戦っていきたいと思います。昨年の戦いを振り返ってみますと、ある程度できた部分、また、できなかった部分、両方あったと思います。まず、ある程度できた部分ですが、これはディフェンスの部分。例えば球際の激しさだとか、攻守の切り替えだとか、そしてラインコントロール。この辺はしっかりできたかなと思っています。昨年の総失点は 44 失点。これは J2 リーグ全体で 8 番目の成績でした。これを 38 失点以内、1 試合 1 失点以内にやっぱり抑えなくちゃいけないと強く思っています。というのは、昨年昇格した清水エスパルス、横浜 FC、岡山、この 3 チームは 38 失点以内に抑えています。ここはわれわれもしっかり改善して、38 失点以内に抑えるよう取り組んでいきたいと思っています。次にできなかった部分ですが、これはオフェンス。攻撃の部分です。昨年の総得点 50 点。これはクラブ J2 リーグ全体で 9 番目の得点数です。ここはもっともっと改善しなくちゃいけないと思っています。プラス 10 点ぐらい。60 得点。ここを目指してやっていきたいなと思っています。J1 に上がった横浜 FC が 60 得点でしたんで、そこは最低でもクリアしたいなと思っています。これ双方クリアすれば、自動昇格というのはかなり近づいてくるのじゃないかなと考えています。攻撃の部分ですが、もっとやはり得点を増やすためには多彩な攻撃、サイドから、中央から、また遅攻だったり、速攻だったり、あらゆる形で点が取れるようなチームを作りたいと思ひまして、今年の編成、それに特化して、攻撃をできる選手、絡める選手。例えば速い選手、高さのある選手、運動量のある選手、ラストパスの出せるような選手。こういった選手を中心に編成に取り組みました。今年は森山監督 2 年目のシーズンを迎えます。昨年積み上げたものにさらに上積みし、また新加入選手の力を加え、目標である J1 昇格。これを達成するため、一戦必勝で戦ってまいります。シーズン終了後は皆さんと一緒に笑顔で終われるシーズンにしたいと思っています。本日はありがとうございました。

磯田:続きまして、森山監督からのメッセージを流させていただきます。

ベガルタ仙台森山:こんにちは。クラブミーティングに参加の皆さん、ベガルタ

仙台監督の森山佳郎です。昨シーズンは本当に最後の最後、悔しい J1 がそこに見えていてつかめなかったという悔しさを選手、スタッフ、胸に刻んで、新しいシーズンの準備を始めています。ただ、6 位だったということをしっかり謙虚に受け止めて、改善すべきところをしっかり、このキャンプで重点的に強化しています。特に、失点はかなり減ったのですが、そちらのほうは昨年のベースをしっかり保ちながら、プラスそこに安定的に相手陣地にボールを運んで、そこからゴールにつなげていくという、そっちのほうは中島、中山の 20 得点、それを埋める作業は簡単じゃないと思ってますし、今何とかいろんなルートでそういう得点を生み出していくような形を模索している状態です。とはいえ、やはり僕たちのサッカーというのは、ベースは戦って、走って、みんなでハードワークして、固まって、何とか勝ち点を 1 拾った、あるいは勝ち点 3 を守り切った。そういうゲームが多くなると思います。そこには必ず足が止まりそうになったときに、すごい声援が聞こえてきたとか、僕らの後押しをしてくれるサポーターの皆さんの声援とか、思いとか、そういうスタジアムが作り出す雰囲気というのが僕らの背中を押してくれると思っています。また今年も熱い応援をいただけたらなと思います。そして、もちろん J1 昇格、全力で狙っていきますし、それと同時に、本当に一番大事だなと思うのは、この仙台、宮城で、あるいは東北で必要としてもらえるというか、応援してもらえる、そういう愛されるクラブになるということ。どんな状態になっても、おまえたちの横にいるぜって、そういう関係を僕らもサポーターのために倒れるまで走るぜっていう、そういう関係を作っていきたいというのは常々感じていますし、地域、ベガルタなくなったら困るなとか、本当に必要だなとか、子供が憧れて夢を持ってくれたり、希望を持ってくれたり、あるいはおじいちゃんおばあちゃんが生きがいとして、本当に元気に長生きしてもらえる。そういう地域に愛される、必要とされるクラブになって、密着して、何らかの地域を元気づけるとか、明るくする。そういう役割ができたらなと思っています。いずれにせよ、僕らベガルタのファミリーというのは、僕らだけじゃなくて、選手、スタッフだけじゃなくて、サポーターの皆さんやスポンサーの皆さん、サポートしてくださるみんなが一致団結してベガルタのパワーが全開になるとと思っています。何とかベガルタファミリーの皆さんと夢、目標に一步でも

近づいていけるように、あるいは実現できるように、今年もいいシーズンにしたいなと思っています。今年も応援よろしくお願いします。

磯田:お二人のメッセージでした。J1 昇格に向けてというところで、熱いメッセージをいただきましたので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。では早速、アジェンダに基づいて進行させていただきます。申し遅れました。私、司会を務めます、磯田と申します。

よろしくお願いします。『25 シーズンキューアンドエースタジアムでのホームゲーム開催について』というところからスタートさせていただきます。ファンコミュニケーション部長、門間のほうが説明させていただきますので、では、門間さん、お願いします。

ベガルタ仙台門間:門間と申します。よろしくお願いします。座ったまま説明させていただきます。まず、昨年、クラブミーティングで話をした内容を説明します。まず、表示している5点について説明させていただきました。昨年の段階ではあんまり多くのことが決まっていなかったもので、ざっくりとしたことしか話はできてなかったのですが、まず、一番上のQスタでの開催が2025年6月末までの試合開催を予定ということをお話しさせていただきました。こちらの現状を言いますと、6月20の甲府戦、現在日程発表の時にはスタジアム未定となっておりますが、こちらの現状ではユアスタで試合開催をできないかなという部分を調整しておりますので、未定とさせていただいております。

2点目が年間チケットの指定席の方々に席希望のヒアリングをできないか検討をしていますということを伝えておりました。こちらは実際、年チケ申込時に席番号を希望して申し込めるように実施させていただきました。また、そのときに事前にQスタの見学をできないかとか、練習試合をやってスタジアムを見たらいいじゃないか、という話もあったのですが、練習試合に関しては工事の重機がありましたので開催はできなかったのですが、昨年の10月20日にQスタの見学会というのも実施させていただきました。試合観戦の観戦席ですが、1階席のみを利用というところで、こちらは変更ございません。1階席のみ利用となっております。アクセスのところで、敷地内駐車場約1,000台利用可能できるというところと、シャトルバスを検討していますというところはお伝えしており

ました。こちらは現状すでにホームページに出している情報ではあるんですが、アクセスに関してはお問い合わせでいつ出るんですという問い合わせを多くいただきましたが、情報発信が遅くなり大変申し訳ございませんでした。遅くなった理由としましては、実際のキューアンドエースタジアムみやぎと利用調整していたんですけれども、隣接するセキスイハイムスーパーアリーナでもライブなどイベントが開催されますので、イベントの利用者によって変動することもあるというところで、実際みやぎスタジアム以外のセキスイハイムスーパーアリーナとの利用調整も必要となっており、また、ライブをするイベント会社さんもそれぞれ違いますので、イベント会社各社さんとも個別で調整するということが発生しましたので、想定以上の時間を要してしまったという状況でした。遅くなり申し訳ございませんでした。実際、スタジアムの駐車場のところですが、昨年約 1,000 台という話はさせてもらったんですけれども、クラブミーティングの際でも、1 台も多く利用できるように調整してほしいというご意見もありました。このあと図面はあるんですけども、現状を言いますと、少ない試合では約 1,100 台なんですけれども、多い試合では 2,800 台と、試合ごとに変動する形ですが確保させていただいております。これはセキスイハイムスーパーアリーナで行われるイベントによって、それが変動するという形です。チケットはベガチケ（J リーグチケット）で販売しております。駐車場の利用可能時間なんですけれども、第 1 駐車場が 8 時から、その他の駐車場は 6 時からとなりますので、お気を付けください。車で来場いただく場合は、昨年もこれ、公園側だけじゃなく泉側も開けるようにしてほしいという要望はあったんですけども、公園入口と泉口、どちらもご利用できます。ですが沢乙口だけがシャトルバス専用となりますので、ご利用いただけないという状況です。駐車券の追加販売なんですけれども、こちらはスタジアムのほうから、積雪がある 3 月、4 月の時期は雪が降った場合、除雪で集めた雪を隅のほうによけるスペースが必要なので、その分の駐車スペースは雪が降らないかどうか確認してから、後から売ってほしいという要望を受けましたので、その分が試合前のタイミングで追加販売される場合がございます。万一、雪が降った場合などは追加販売等はないので、ご了承ください。

これが一応、パターン 1 と呼ばれる形です。2,860 台使える駐車場の利用のところで、黒く塗っている部分が使えないところです。第 2 駐車場と A 駐車場は使えないところとなっております。この次がパターン 2 で、開幕戦の大分などはこれに当てはまるんですけど、1,715 台。こちらがパターン 2 という、次に多く使えるときの駐車場の形となります。次にパターン 3 という、一番少ないんですけども、こちらは 1,100 台使える形で、このような駐車場の利用台数となりますというご案内です。続いてシャトルバスのところになります。シャトルバスにつきましては、仙台駅発着とユアスタ発着で、全試合運行を予定しております。こちらは仙台駅着の往復が 3,000 円、泉中央が 2,500 円という金額で発着します。こちら宮交さんのほうに全てお願いしている形となりますので、宮交さんがセブンイレブンのマルチコピー機のチケットぴあで販売しているという状況になります。仙台駅の発着はセキスイハイムスーパーアリーナのイベントと共用する場合がありますが、ここは我々だけでシャトルバスを確保しようとしたところ、クラブ単独でやると本当にバス数台分しか確保できないという状況です。数十台で回すとなると、結果的に共用したほうが多くお客さんを運べるというご提案をいただきましたので、そのような形になっております。ユアスタの発着に関してのみ、販売数に上限ありますので、お気を付けいただければと思います。こちらはホームページのリリースには載せていないんですけども、JR 東日本さんに相談しまして、利府駅行きの増便を依頼したところ、車両の増便というのはなかなかできないんですが、増結といいまして、利府駅行きの車両を 2 両から 6 両に増やしていただけるという対応はいただきました。ですので、JR に関しては、利府駅行きは増便ではなく増結という形で対応していただいております。利府駅に着いてからなんですけども、路線バスも利府駅からグランディ行き（Q スタ行き）の路線バスを増便していただいております。試合当日のみとなります。一応、路線バスではあるんですけども、利府駅と Q スタを可能な限り往復するという形で対応していただきます。バス会社の都合によって、現状では平日開催の試合のみ増便ができないという場合もございますので、そこはご了承ください、気を付けて来ていただければと思います。続いてなんですけども、駐車場の予約アプリのアキッパというものも、アキッパさんとお話ししまして、

利用できるという形で話が付いておりますので、そちらのご活用もご検討ください。現状、聞いたところでは、スタジアム、Qスタ周辺ですと、事前予約可能な駐車場が 100 台ぐらいあるということでした。こちらの利用には、アキッパの会員登録というのにも必要になりますので、そこはお気を付けください。現在、調整中でまだ発表できていないところでは、敷地外の Q スタのスタジアム外の駐車場で駐車できる場所がないかというのを検討しております。現状ではキューアンドエースタジアムみやぎから徒歩で 20 分、25 分程度歩く場所にはなりませんが、そこで 100 台程度の駐車場を設置できないかなとは検討を予定しております。あともう一つは、仙台市内にある DATE バイク。こちらも利府駅と岩切駅周辺にバイクを置くポートが設置できないということはあるんですが、その近隣施設とか、空いているスペースなどでポートの設置してできないかというところを検討しております。

約 100 台程度の DATE バイクを、こちらのほうに持ってこれないかなという話をいただいております。

続いて、スタジアムでの飲食売店の設置のところなんですが、これ今スクリーンに出ているのがスタジアムの概要の図ではあるんですけども、こちらで昨年のクラブミーティングで、先行入場の前のタイミングとか、試合後のタイミングとかで、スタジアムの外周で飲食が購入できるものがあつたほうがいいというご意見いただきましたので、スタジアムの中はユアスタに出店している飲食売店が変わらず出店する予定ではあるんですけども、この図面という左上側、N と E のゲートがあるんですけども、こちら、N がゴール裏北側、E が S バック側の入口になりますが、そこに向かう動線の途中には 3 売店から 4 売店、場合によっては 5 売店いけると思うんですけども、キックオフ 3 時間半前から開店予定としております。3 時間半前予定としているんですけども、準備が早く着けば、もうちょっと 4 時間前でも早くできるかなとは思っております。試合後は最大 1 時間後まで実施する予定ではあります。右下のところは、円形広場と言われているところではあるんですけども、W ゲートに上る大きな坂があるんですけども、その坂の根元のところにキッチンカーやテントでの出店など設置できないかなという検討をしております。実際、ここは飲食売店以外にもいろんなブースと



か、スポンサーさんのブース、もしくはにぎやかしなどもできればと思っております。円形広場のほうは若干、駐車場利用などもありますので、今、示しているエリアからはちょっとずれることもあるとは思いますが、現状、メイン側、バック側、どちらにも飲食売店を配置しようと考えております。こちら、今、写真載せているものは去年の写真ではあるんですけども、同じく Q スタの外周面でも、円形広場とか、陸上トラックの広いスペースがありますので、そのスペースを利用したイベントが何かできないんですかというお声もいただいておりますので、現状、あともしくは試合後、分散退場を促したほうがいいんじゃないですかとか、さまざまなご意見いただいております。そういうことも含めまして、昨年、ユアスタでも実施していたイベントでもございますが、選手の触れ合いイベント、SOCIO FANCLUB の会員イベントや、参加型のイベント、写真はフットダーツなんですけども、もしくは太鼓や雀踊りなどの演舞とか披露できるようなイベント。あとは、トークショーとか、サッカー教室など、ここに書いているもの全て必ずやるというわけではないんですけども、昨年、実際ユアスタでもやっていますので、こういったものが実際、スタジアム内外でできないかというところも、担当のほうで詰めておりますので、こういうものも含めて実施していきたいと思っております。大卒になりますが、説明以上となります。

A:ありがとうございます。では、質疑応答にはやりたいと思います。現状、Q スタのアクセスであったり、イベントだったり、今開催に向けての不安点や確認点等があれば、ぜひ挙手の上、お尋ねください。お願いします。

サポーターニシヤさま:ニシヤと申します。駐輪場の件なんですけど、以前の開催のときは南側の橋渡った先に、みんな自転車たくさんとめてたんですけど、そこは駐輪可能なかどうか、確認したいと思います。

門間:この図面でいいますと、現状、駐輪場、許可いただいているところは、ちょっと見えづらいですが、スタジアムの N と書いているゲートの赤く。

その左側、投てき場があるんですけども、その脇に第 4 駐車場というのがあるので、そこをスタジアムのほうからは駐輪場として止めていいという許可はいただいております。ですので、こちらのほうに一応、おとめいただく形かなという状況です。

サポーターニシヤさま:以前も代表戦とか、仙台市内から行って、そのほか南ゲートに渡るとこに橋あるんです。その先にみんな、かなり広いし何もない場所があるんです。そこにみんな自転車とかバイクをたくさんとめていたんです。

門間:この図面でいうと、Sの円形広場の上辺りですか。

サポーターニシヤさま:ここの橋あるんです。この辺にみんな、今までたくさん。広場がある。そこにみんな、仙台市から来たとき、一番近いんです。ここだとずっとぐっと回らないといけないし、車がたくさん走っているんで。

門間:その場所に関しては今、Qスタやグランディでもイベントによって使っている、使っていないがあるので、再度、使えるか、使える試合はどこなのかというのを確認して、別途お知らせいたします。

磯田:具体的なリクエストどうもありがとうございました。ニシヤさん、ありがとうございました。確認させていただいて、決まりましたら、ホームページ等で発表させていただきます。ありがとうございます。

サポーターウエタケさま:ウエタケと申します。シャトルバスの件で質問があるんですけども、往復のチケットしか販売されてないんですが、片道のチケットの販売の予定はないんですか。周りから言われているのが、私の知り合いから聞いた話だと、行きは合流できないけど、帰りは知り合いとかと合流できるから、車で送ってもらえるんだけど、往復しかないんだよねっていうお話を聞くんですけども、どうなんでしょうか。

門間:ありがとうございます。現状、宮交さんからいただいたお話が往復チケットのみということですので、もう一度、片道だけでできないかという交渉をもう1回させていただきます。それがもし決まれば、また別途お知らせいたします。

現状、宮交さんから来ている話が往復チケットのみという状況でした。

磯田:クラブが販売しているのではなくて、あくまで宮交さんの販売というところで、クラブでもコントロールできるところ、できないところがあるということで、ご承知いただければと思います。

門間:できる、できない抜きにして、もう一度、宮交さんとは話し合って調整してみますので。もし可能であれば、リリースという形でお知らせいたします。

サポーターカナモリさま:カナモリと申します。資料のほうに駐車場の料金が載

ってなかったように見えるんですけど、3,000 円って聞いたんですけど、これは何でそういう値段になったのか聞きたいです。

門間:駐車場の価格ですと、一般が 3,000 円、ファンクラブ会員が 2,700 円、年チケの皆さんが 2,500 円とさせていただきました。駐車場の料金につきましては、実際の前回のクラブミーティングでも、混雑がすごいあるだろうということも言われていまして、スムーズに入るための、入退場するための必要な警備員というのを配置しますということをお約束させていただきました。実際、その警備費も前回の 2009 年から値上がりしてはいるんですけども、そこを警備費含めた上で、実際どのくらいの金額で運営できるかっていうのをクラブで検討した上で、この金額には設定させてもらっております。

サポーターカナモリさま:単刀直入にいうと、スポンサー撤退とか、その辺が関係してるのかなと、これ思ったんですけど、その辺についてどうでしょうか。

門間:スポンサーがなくなったことで駐車料金上げたということではないです。

サポーターカナモリさま:わかりました。ありがとうございます。

門間:たぶん、皆さん昔から来られている方は記憶あると思うんですけど、2013 年のときに、浦和戦を Q スタでやらせてもらったんですけども、そのときは 2,500 円という価格で駐車場を運用していたんですけど、実際、そこから見ても、警備費のほうは倍とは言わないですけど、1.6 倍ぐらい上がっていますので、そうすると 3,750 円ぐらいで売らなきゃいけないなという話もあったんですけども、やっぱりライブ来られる方は県外からその日だけ来るっていう状況なので、駐車場高い、安いはあると思うんですけども、うちのお客さんは毎試合来るので、そこまで上げてしまうのとやはり負担になるかなというところで、年チケの皆さんには前回と同じぐらいの金額でお示ししたいというところで 2,500 円。

そこからファンクラブと一般の方には若干の値上げというか、3,000 円になってしまっていますけども、その金額設定とさせていただきました。

磯田:ありがとうございます。続きまして、Zoom のほうから、オバタさん、カメラをオンにできますでしょうか。

サポーターオバタさま:私、オバタと申します。よろしくお願いします。本日、先ほど資料見させていただいて気になったんですが、私、今、関東住んでおりま

して、ユアスタ、今度、Q スタにも日帰りとかで伺おうかと思ってるんですが、シャトルバス、仙台駅発着およびユアスタ発着の、こちらの初便って何時ぐらいを想定されてますか。当時の試合って、確か13時キックオフって聞いているんですが、だいたいどれぐらいに行けば、新幹線で朝乗ればそのシャトルバスの初便、もしくは集中してる便に乗れるのかなっていうのがちょっと気になって伺いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

門間:ありがとうございます。シャトルバスは、内ヶ崎さん、スタート4時間前でしたっけ。

ベガルタ仙台内ヶ崎:そうです。4時間前。

門間:キックオフの4時間前から乗れるというところですので、一番早くて4時間前に乗れる形かなと思います。

サポーターオバタさま:となると、9時、10時ぐらいが一番多くなるということですかね。

門間:13時キックオフの場合はそうです。

サポーターオバタさま:わかりました。ありがとうございます。

磯田:ありがとうございます。ほかにご質問等ございますでしょうか。

サポーターコヤマさま:コヤマと申します。ユアスタ、Q スタに車で行こうとは思っておりますけども、前回、また前々回よくあったのが駐車券のチケットチェックです。これが思ったより手間取って、駐車場に入るのにすごく時間がかかるということがありました。今回、たぶんQRコードでチェックするような形になりますけれども、そうになると、窓開けて、QRコードを見せてくださいみたいな形で、だいぶ作業は繁雑になって、そこで渋滞が発生するという可能性もあると思います。なので、警備、その他、チケットチェックのほう、スムーズに入れるように配慮していただければと思います。以上です。

門間:ありがとうございます。まさに前回と違うところは紙チケットではなくてQRチケットですので、事前のお願いとしましては、QRチケットを電波状況とかもあるんで、その場でアクセスして出そうとすると手間取ったりもあると思うので、事前にスクショして来ていただくとか、もしくは警備のほうも、道路からQスタに入ったところじゃなくて、駐車場まで引き込んで、その中で渋滞起きな

いように確認するなどの検討はしておりましたので、そこはご意見いただいたとおり、こちら検討してやりたいと思っています。

サポーターコヤマさま:願わくば、係員の方の増員とか、そういったものも検討していただければと思います。現状、ユアスタでやる場合でも、例えば、喫煙所とかの出入り口とか、人数が足りなくてかなり混雑するということがありますので、その辺りの配慮をよろしくお願いします。

門間:了解しました。ありがとうございます。

磯田:貴重なご意見ありがとうございます。チャットのほうで、オールキャッシュレスですかという質問来てますけど、オールキャッシュレス前提で進めております。あと、机、椅子を置くようにしてほしいという声もあります。あと、その中で通信環境、Wi-Fi などの通信環境どうでしょうっていう質問ありますが、門間さん、今現状どうでしょうか。

門間:Wi-Fi の設備はないと聞いております。通信環境につきましては、NTT ドコモさんが現状、オリンピックのときに、その当時ですけども、最大のスペックのものに設備を整えているということでしたので、あと、そのスタジアム内とスタジアム外の駐車場のところにも補うようなものをしてるということは聞いておりますので、そこは電波の強弱も含めて、NTT ドコモさんと含めて、試合当日何かあったりとか。

電波弱いエリアがあるとかっていうのがあれば、随時調整しながらやらせていただきたいと思います。昨年は、ユアスタの Wi-Fi じゃなく、ドコモさんのほうの普通の 4G、5G というところも昨年の前半の山形戦でパンクしたというか、アクセス過多になって、飲食のほうもキャッシュレス端末が接続しにくいというところがあったんですけども、そこをちょっとご相談したときに、8 月の清水戦までには改良していただく、みたいなところもドコモさんに協力いただいておりますので、そこはちょっと常に話して調整したいと思います。

サポーターコヤマさま:ありがとうございます。

磯田:コロナでちょっと忘れがちなんですけど、あそこオリンピックをやる予定で、唯一、有観客でオリンピックをしたサッカー会場でというところも歴史としてはありますので、そういったところも踏まえてというところをご承知おきい

ただければと思います。ほかにございますでしょうか。あれば、挙手等でお願いいたします。

サポーターコンノさま:コンノと申します。今の質疑を受けて、2点ほどあるんですけども、1点目はシャトルバスの最初の便が4時間前と。それは先行入場とか、何かそっちの問題とかに引っかかったりはしないというのは明言していただけのことなんでしょうかということと、それから、先ほど通信環境、オリンピックのとき私も関わったんですけど、通信環境調べて、取りあえずはオッケーだったということですけども、実際やったらやっぱり問題があったということもあります。それから、Wi-Fi 設備も入れたはずなんですけども、なかなか使えなかったということもあったりもして、最近も Wi-Fi 設備を何かいじってるという話も聞いたんで、そこをきちっと調べて周知していただければという、2点目はお願いします。

門間:ありがとうございます。シャトルバスにつきましては、4時間前出発開始で、先行入場がユアスタと昨年同様の2時間45分前から列整理を開始する予定ですので、そこまでには間に合うという形で想定しておりました。Wi-Fi については、実際、本当にこちらでは Wi-Fi 対応してませんよということは聞いてますので、そこはもう一度、再度確認させていただきます。

磯田:ほかにご質問ありますか。

サポーターコンノさま:今の Wi-Fi って VPORT はどうなるんですか。

磯田:VPORT は、広報の庄子部長から。

ベガルタ仙台庄子: VPORT は引き続きやります。2024 シーズンは試合前に LP を公開して、試合の日にユアスタの Wi-Fi に接続した人だけ VPORT が追加表示される仕組みになっていました。Q スタ開催でも LP は公開しますが、Wi-Fi で切り分けることをしないので、つながないと見られませんかということはしません。普通に(お使いのインターネットで)つないでいただければ、当日はマッチデープログラム、VPORT が追加になって、壁紙がダウンロードできます。特に制限はありません。言い方が悪いですけど、Q スタじゃなくても見られる環境です。ユアスタに戻ってくるまでは、オープンな環境になります。

磯田:ありがとうございます。チャットで大型ビジョンが見えづらいとか、もう

少しアウェイ向けに情報発信をとというご意見もいただいておりますので、それは今後の参考にさせていただきます。ありがとうございます。では、時間もちょうどになりましたので、次の議題に入らせていただきます。続きましての議題ですが、今回のアンケート結果のユアテックスタジアムの一部の自由席の指定席化についてのアンケート結果についてのご説明をさせていただきます。アンケート結果は、7日金曜日の夕方にホームページで出させていただきましたので、その内容を全部読んでしまうと時間もったいないし無駄ですので、ポイントだけかいつまんでお話しします。

まず、冒頭、クラブからお詫びというか、お話をさせていただきたいのは、実施の想定する時期とか、あと、どのエリアが対象になるのか、いつやるんだ、何席やるんだ、どこでやるんだみたいなことが、その前提がなかったのも、ちょっと混乱しているみたいなご意見もいただきましたので、そこは説明が不足していたことはお詫びし申し上げます。まず冒頭、社長が挨拶で申し上げたとおり、まだ何かを決めたとか、決めるとか、今日発表するとか、今日ここで決めるというわけではなくて、幅広く意見を聞きながら、どういう方向性に持っていこうかという、まだ本当に議論の前の初期段階というところでしたので、あまり要件定義を固めずに、皆さんに自由闊達な意見をいただくために、前提はあまり設けなかったというところをご説明させていただきます。あと、なぜこのアンケート採ったのですかっていう話になりますけども、毎試合アンケート、試合が終わったあとに来場者に向けて来場者アンケートを採っているんですけども、その声の中で、先行入場の待機列が長いとか、自由席の過剰な席確保とか、席取り行為というところの意見がかなり多かったっていうところが踏まえているというところと、あと将来的にももちろん、監督、GMも言っているとおり、J1昇格が当然、われわれのマスト事項ですので、J1昇格していくときに、またコロナ明けて、来場者もかなり戻ってきてますし、アウェイのサポーターの方もJ1だとかなり多くなってきて。そうすると、いろんなスタジアムのルールとか、観戦ルールとか、今コンコースが行き来できてるのはどうするのかとか、そういったいろんなこと、環境変化がありますので、ちょっとその前にいったん、まずは皆さんの声を今のうちに聞いておきながら、いろんなことに備えていきたいというところ

が前提で、アンケートを採っているところであります。中身のほうを触れさせていただきます。次のページをお願いします。まず、毎回アンケートは、当クラブのアンケートの採り方としては、J リーグ ID を用いています。9 万人ぐらいが会員登録しておりまして、この中にはもちろん、コアな方もいらっしゃる、ライトな方もいて、年チケの方もいれば、そうじゃない方もいて、年チケ指定席の人もいれば、自由席の人もいます。いろんな属性の方がたくさんいて、9 万人という母数が多いというところで、この方々から声を聞くのがベガルタ仙台にとって一番幅広く意見が採れるだろうというところで、こちらのほうにアンケートのお声がけをしております。前回、アンケートの周知の仕方が甘いのじゃないかというご意見もミーティングでいただきましたので、X と LINE を活用して、あと、リマインドメールも何回かさせていただいて、極力アンケートに多く答えていただけるようにというところで、クラブも努力をさせていただきました。多少ですけれども開封率と回答率が少し上がったというところで、記載のとおりというところで、約回答数としては累計で 1,900 ぐらいのご意見をいただいたというところなんです。結果、全体としてみると、賛成で 55% ぐらい、反対で 28% ぐらいというところではあるのですが、これ、全体で見た話なので、席種ごとにやっぱり全然意見が違うというところが実態です。4 ページ目の、年チケ指定席の方に聞くと、年チケ指定席の方なので、当然、指定席化することに賛成という声が多いということも数字で、ここは 70% を超えたというところなのですが、一方で、やっぱり年チケの自由席保有者に聞きますと、反対のほうに圧倒的に多くて、50%、半分、過半数を超える方が反対だったと。やや反対に入ることをございます。この自由席も今、3 席種ありますので、サポーター応援席の方、ゴール裏北の方、ゴール裏南の方というところで、反対のほうが多いのですが、やはり一番、この件に関して反対が多い方は、サポーター応援エリアの方々。応援をリードされている方々がいらっしゃると思いますけれども、こういうところが多いのかなというところで、ご意見としてはまとめさせていただいております。賛成意見、反対意見のところの定性的な声、ページ変えてもらっていいですか。全部は読み上げませんけれども、八つ、九つ、それぞれ挙げさせていただきました。席取りがやっぱり多いので、やったほうがいいとか、もう早く来場す



る必要がなくなる、来場したあとイベントに参加できるとか、そういった声です。やはり、もともとアンケートを採るきっかけとなりました過剰な席取りのところで、時間を有効的に活用したいというところの声が多くて、賛成ということが多いというところですよ。あと、8番目の意見なんかは、入場前の列がかなり長く、ユアスタの場合、スペースも少ないのでという、ちょっと主催者目線なんですけども、入場列でエリアを使うぐらいだったら、違うことに使えるようにしたほうがいいというところで賛成という声もありました。

反対のところですが、友人・知人と観戦する際の席確保が大変になる。自由席だと、人数が急に増えてもいいとか、そういうところの話だと思いますし、あと、やっぱり応援の熱量のところですね。応援の文化のところで非常に懸念を持たれている方の声が非常に多いというところもありました。対戦相手によって観戦エリアを変えたいという方もいらっしゃるし、自由席があると幅が広いとかというところで、反対意見もそれなりに非常に納得感のあるというか、皆さんにはいいご意見をいただいたというところでもあります。今日のところは、ここはあらためて、われわれが冒頭申し上げたとおり、全席指定席のクラブも昨年、J2で見ても複数クラブあったという実態もありますし、うちの自由席と指定席の割合が6対4で、4が自由席なんですけど、この6対4という割合は、J2で見ると自由席の割合が非常に多いクラブだという特徴があるというところも踏まえて、いろんな議論をしていきたいと思っておったんですけども、この数字を踏まえた上で、あと、こういったご意見もたくさんいただいた上で、まずやはり生な声を、皆さんに意見を聞きながら、やっぱりベガルタはこうしていくべきだ、こういうふうなスタジアムが望ましいということを、今日ご意見いただければと思います。ご質問いただければというところで、質疑応答になるべく多い時間を持ちたいと思いますので、僕の説明は簡単ですけども、以上となります。では、ここから、皆様からのご意見、ご質問等を受けたいと思います。よろしくお願いします。

サポーターイトウさま:イトウです。よろしくお願いします。私、サポーター自由席のほうで年間チケットを所有しています。昨年度、ベガルタ仙台の露出がだいぶ高まって、応援したいっていう知り合いとかもいたりして、そのときに年次

ケのタダ券といいますか、そういうのをあげたりとかして、一緒に見たら面白いよみたいなことを地道にやったりもしてるんですけども、そういったときに、今、自由席に座っているから知り合いが近くに来ることはもちろん可能になると思うんですけども、指定席になったところで、自分は指定席がある。だけど、ほかの人を誘う。だけど、スタジアムどんなもんかわからない。じゃあ、やっぱいいやっていうのが流れになってしまうかなと。いわゆる、一見さんとかライト層の取り込みというか、仲間内、身内で誘うことが結構厳しいなって私自身は感じております。別の話ではありますが、Qスタになることによって、正直、誘いづらいついていうか、誘えない。シャトルバスとか、駐車場とかついでいうところで、そういう障壁があって、じゃあ、ユアスタでもといたら、席種が違うからあなたとは応援できないよってなると、そういうところ結構きついなって私自身は思いました。以上です。

磯田:ありがとうございます。自由席であるからこそ、ライトなご友人を誘いやすい、急に増えても誘いやすい、自由席ならではのメリットがあるのではないかというご意見だったと思います。貴重なご意見ありがとうございます。何かクラブからは大丈夫ですか。おっしゃる、ごもっともだと思います。ありがとうございます。次の方をお願いします。

サポーターヨコヤマさま:ヨコヤマと申します。サポーター自由席、年間パスで応援させていただいています。その先ほど、磯田さんのほうから、アンケートの趣旨が、どこをイメージしているのかついでいうところが伝わってなくてっていうお話あったんですけど、これってシーズンの途中からでもそういうふうにするっていうお気持ちのアンケートだったのか、来シーズンの話だったのか、すごくこのアンケートが来たときにとても不安でした。意見というより気持ちなんですけれど。いつも私、年間チケットなので、25年シーズン、ずっとそこでだいたい入場の順番によっては変わりますけれども、だいたいあそこら辺で見ようと思っていたんですけど、そこが指定席になったので、あなたは座れません。あなたはそこに行けませんって、シーズンの途中からなっちゃうんだったら、どういうことっていう感じで。そこら辺の意見が伝わらなくて申し訳なかったっていう磯田さんのお話あったんですけど、実際、具体的に例えば、L字の角辺り

がいつも、本当は連続してバック、北側のゴール裏から連続した厚い壁になっていると一番いいとは思いますが、あそこら辺がどうしてもどけるので、だったら、そこを指定席にしたらいいいのかっていう話なのか。Sバックとの境目をずらして、あそこを指定席にしようという前提でお話ししてるのか、そこら辺がよくわからなくて、アンケートの回答にすごく困りました。反対っていうふうには書いたんですけど、そのあとに書く内容がすごく困ったので、そこら辺、お話しできる限りのことで結構なので、特に今シーズンの途中から変わることがあるのかっていう辺りに関しては、今、現状の状況をちょっと教えていただきたいなと思います。

磯田:ありがとうございます。前提のお話のところで再度、繰り返しになって申し訳ないのですが、時期だったり、エリアを決めているわけではございませんので、今シーズンというともう始まりますし、シーズンの途中でスタジアムがみやぎスタジアムからユアスタに変わったりしますので、ここで何かをするということは、たぶん事務手続き的にも社内的にも難しいと思いますので、そういったことはまったく想定はしてないと思っております。ただ、J1 昇格をというところも見据えて、いろんなことも準備をしなきゃいけないということもありますので、そういったことを検討はしなければいけないんですが、具体的にいつどこでっていうことは、逆にいうと決めておりませんので、逆にそれを皆さんに今おっしゃったとおり、シーズン中に変えられたら困るとか、そういうことをご意見いただくために今日の会を設けておりますので、そういった生な声をお聞かせいただきたいと思います。先ほどもお話あった S バックのところ、サポーターのところを動かすのか、どっちなのか、ここは困るとか、こっちはこうだとか、そういうことも皆さん、ご意見あると思いますので、ぜひ、そういうところをご意見いただければなと思っております。時期はまったく決めてないというところの回答です。具体的にやるかどうかっていうことも含めてですけど。

サポーターカナモリさま:カナモリです。指定席化について、普段、バックのほうで応援しているんですけど、最初の社長の話で、いろんな人のクレームだとか意見があって、指定席を考えているっていうことなんですけど、指定席にしたとしたで、また別の問題が出てくるのかなというところで、例えば、旗で試合が見

えないとか、人によって応援のスタンスいろいろあると思うんですけど、そのすみ分けだったりとか。極端な例でいえば、初めて来たところが太鼓とかの隣だったってということもあるのかなっていうとこで、指定席化にして問題の解決になるのかなっていうのは少し疑問が残るところなんですけど、どうでしょうか。

板橋:ありがとうございます。ご指摘のとおりでありまして、いろんなご意見がすでにアンケートの中でも見られております。指定席化することのメリットもあれば、デメリットもある。さらには、指定席、自由席という大きなくくりだけで語れるのかという話です。指定席の中でも本当に、いわゆるサポ自(注:現サポーター応援席)に近いところと、そうでないところ。例えば、ファミリー層の方で、初めて来られる方は、サポ自(注:現サポーター応援席)のすぐそばではないほうがいいという人もいたりします。ですから、いろんな指定席の中、現状でも立って応援する自由席もあれば、座って見る自由席もあるように、指定席、自由席の中でも、ここのブロック、ここの席は、こういう応援の仕方をする人のための席ですっていうのをちゃんとすみ分けをしていかないと、おっしゃるように、そうじゃないと思ったら旗が振られて見られなかったっていう話になってしまいますので。

これはやっぱり、お客様の声に応じて、いろんな席種を少しきめ細かく分けるということも一つの案だと思います。ただ、それをやっても、100%はたぶん難しいので、どの辺がいわゆる折り合いが付く線かっていうのは、これはやはり1回案を作って、それをまた皆さんにお示しして、また修正するなり何なりして、取りあえずこれでやってみようというのが固まれば、そこから始まるというくらい。どうも0、100で急に決まる話ではないのではないかなというのが、ただいた自由記述の意見見ると、感じております。本当にいろんな意見があります。まったく逆のご意見もあります。やっぱり、お一人お一人、考えさまざまだというのは相変わらずわかります。なので、みんなが100%納得っていうのも難しいですし、かといって、やはり今の現状のままでいいのかというと、やはりいろいろご不満もあるという、そういう中で、どこまで皆さんが納得できる線で、取りあえず、ここまでというところを探っていきたいというのが現状の認識でございます。以上です。

サポーターカナモリさま:ありがとうございます。すみません。もう一つなんですけど、指定席に伴って、応援というところの熱量でいったら、上がるのか、下がるのかっていうところはどうお考えなのかなとお聞きしたいんですが。

板橋:ありがとうございます。これもアンケートの中ですでにかなりの方々が同じような意見を出されております。先ほどもありましたように、これは J リーグの調査でも明らかですけれども、初めてスタジアムに来る方って、お一人で来る方っていうのはほとんどいないです。だいたいお友達に誘われてやってくるという。皆さん、集団で観戦をするというのが非常に多いです。その場合、先ほどもありましたけれども、自由席のほうは何人そのとき来るかわからない。当日、都合が悪くて何人か来ない。そういう場合にも、自由席だったら柔軟に対応できる。そして、その中にはいわゆる年間パスを持っている方は、サポーターの応援エリアはこういう、例えばずっと立って応援するんですとか、そういう席の、先ほども申し上げましたが、このエリアのこの席はこういう席なんだというのが分かって、それをわかった上で、そこにお客様、お友達をお招きするという形が取れるというのが現状の自由席を中心にしてやっているメリットだと思います。ですから、これを大事にしていくという観点でいうと、先ほども申し上げましたが、いきなり自由席をなくしてしまうということはやはりできないだろうなとは思っています。ただ一方で、まったく自由席を今のままなのかという、いろんな方のご意見で、あの部分であれば指定席化しても問題ないんじゃないかというようなご意見はいくつか書かれております。特に言われるのは、初めて観戦に来るファミリー層の方で、子どもさんを連れてくるので、長い時間、列に待機できないとか、子どもがぐずってしまうので、やはり試合開始の直前にしか行けない。それで、自由席を買って行ったら座る席がなくて、結局、立って見るしかなくて途中で帰ってしまったなどという話はよく聞くので、例えば、そういうファミリー層の方々が試合開始直前に来ても、しっかり席が確保できるような仕組みができないかというようなご要望はありますので、少しその属性とか使い方、観戦の仕方に応じて、ある程度、限定した席をご用意するということは考えられるのかなとは現状は感じております。以上です。

磯田:補足しますと、指定席と自由席。自由席は小、中、高の値段が設定されて

いるということで、お子さんは連れやすいというところがありますけども、その代わり、自由席だということも、反する面もあるというところでございます。今、ウェブのほうで手を挙げているチバさん。

サポーターチバさま:私、ブランメル時代からサポーターしております、チバと申します。現在は、ゴール裏北、L字のほうで主に応援しております。今回、自由席の指定席を増やすのかどうなのかという議論ということなんですけれども、私、30年近く応援してまして思うんですけど、昔に比べると自由席っていうか、率先して応援する人がすごく増えてきたような気がするんです。そうすると、やっぱりサポーターの横のつながりとかっていう観点で考えますと、やっぱり指定席って増えちゃうと、例えば、自分がいつもこの席にいて応援してる、この場所で応援してるっていうところに、必ず誰かしら知り合いがいたりするときってあるじゃないですか。そういうことが、指定席になっちゃうと、そういうシチュエーションができづらくなっちゃうんじゃないかなっていう気もするんです。もちろん、指定席を増やすというニーズはあるのは重々承知はしておりますけども、やっぱり今、仙台のサポーターの人たちがどういうスタンスで応援したい人たちが増えてるのかっていうところの観点で、もう少しベクトルを向けて、カテゴリの設け方とか、そういうのを考えてもいいんじゃないかなっていう。そういう面では、自由席はこの状態で、そのままだも僕はいいとは思うんです。ただ、問題なのはやっぱり、座席を取る際の、一人一人のサポーターの皆さんのマナーというか、モラルというか、そここのところの問題もあると思うので、やっぱりそここのところの啓発っていう面でも、フロントさんのほうでも、もう少しうまくやっていただいたりするとかしていただくことも含めて。あとやっぱり、サポーター一人一人の自浄作用って言っちゃおかしいですけど、すみ分けというのもあるし、もう少しそういう、やっぱりみんなで共有してくっていう意識をみんなで育んでいけるような環境づくりっていうんですかね。そういうのをできたらいんじゃないかなと、僕は正直、この話聞かせてもらって思いました。以上です。

磯田:ありがとうございます。応援の文化、昔から応援されているということで、ゴール裏の応援文化があって、バックにはバックの文化があって、そこをやはり

自由席でやることによって、そういったスタジアムの雰囲気作りができるだろうというご意見だったと思います。ありがとうございます。あと、自由席、今チャットのコメントにもありますが、過度な場所取りっていうところは、非常にこれはずっとうちだけじゃなく、ほかのクラブも含めて、うちのクラブも含めて、ずっとここは課題ですので、チバさんおっしゃった、お客さんもマナー、モラルっていうところもありますが、クラブとしても、ここにもう少し踏み込んだ対策は必要だと思います。それが結果、解決につながるということもありますので。貴重なご意見をありがとうございます。ほかにご意見ございますでしょうか。

サポーターエンドウさま:エンドウと申します。質問というか、個人的な意見だったんですけど、どちらかというと、私も反対かなと思ひまして、先ほどの社長のお話とかでも、アンケートだと結構、賛成派も多いみたいな意見とかあるんですけども、実際、こういう話すると、言い出しづらい人もいるのかもしれないんですけど、具体的な賛成っていう人の意見を聞かないというか。あるんで、もしかしたら、これから発言する人いるかもしれないんですけど、賛成派の意見あるのであれば、その人の意見聞いてみたいなと思ひました。

磯田：議論は一方に偏らないように色んな方向で議論しましょうということでしたので。賛成の方もいらっしゃればもし、是非積極的にご発言。一応記述はしていますけども生のご意見ということで賛成の方いらっしゃればお願いします。

サポーターササキさま:ササキコウタです。今回のそもそもアンケートを取った頃って過剰な席取りがあつてなかなか席に座れないとか去年の山形戦とか清水戦であつたと思うんですけど、その解決策として自由席の指定席化が上げられてると思うんですが、指定席化以外のそういった課題について何か他に違うアプローチとか対策、何か案とかってクラブの中で出ていたりしますか？

磯田：列も長くなることに対してのクラブとしての対応策ってところですか。門間さんいかがでしょうか？

門間：クラブの中でも当然昨年から話もしていますし、実際警備の数も増やしたりとか先行入場の時間を2時間15分前に変えてみたりとかっていうようなことは試行錯誤させてもらってます。今回のアンケートの趣旨が過剰な席取りとか先行入場である課題のところを解決というところではあるんですけども、ま

ず解決の一つにはなるかもしれませんが、クラブの運営の方でも当然できることで解決するんであればまずやるのが先だと思って、もしそこクラブとしてできることは今後も色々考えながらやっていきたいと思っております。

サポーターササキさま：他クラブとかの事例とかもあるのでそういったのも調査しながら今後やっていければと思ってます。長崎とか横浜 FC とかそこらへんの調査の方もよろしくお願いします。

磯田：長崎と横浜はたまたまですけど全席指定だったりするんですがそういったことを踏まえて他クラブの調査もしながら、色々クラブとしての自助努力というところもしっかりと示していきたいと思います。

サポーターニシムラさま：ニシムラと申します、よろしくお願いいたします。サポーターで1試合1万5000人前後集まるんですし、不特定多数の大人数が来て指定席が良い人もいれば自由席が良いという人もいました。指定されることによる安定感、それから自由にやることの融通が利くということ。それはもう全部が同じ意見になるわけではないと個人的には思っています。先ほど社長さんが仰ってくださったように棲み分けをしていくというのが本当に一番の良い方法じゃないかというふうに思うわけですけども、先ほど磯田さんから J2 の全席指定化ということでこのアンケートきた時点で私の方でどこのチームがしてるんだろうと思って全部のところのチケット販売状況を見ました。J1 さんは何チームか全席指定化してますが今年度 J2 さんの全席指定化はないと思います。長崎さんも実はゴール裏は幾分自由席残っています。なのでちょっとそこ確認させてください。J2 は今年度は今のところないと思います。それからアンケートの結果を見てみたんですけども、全体としては多かったかもしれないんですけども実際に自由席を買ってる方たちは指定化はあまり望んでらっしゃらないというのを見えました。こちらの会社さんの素晴らしいところで今日の前にこの資料をきちんと私たちに提示してくださるというオープンなところも本当にこちらの会社への安心した、私としては感じました。こちらを見させていただいて実際に来ている人たち、自分たちと一緒に応援している人たちはあまり望んではいない。誰が指定化ということを会社さんの方に訴えているのかというのをオープンにしていいただければというふうに思います。それから列整理が大変と



いう意見があったので指定化を考えましたという社長さんの最初の挨拶がございました。

列整理のことなんですけど私はゴール裏北で応援させていただいてるんですけども、大体現在列席番号が 500 番を超えています。1 グループ 4 人で 2000 人。ですが後ろの方はかなりスカスカなので実際には 1000 人超えるぐらいの人たちが列に並んでいるのかというふうに思います。東側は申し訳ございません自分がそこ行っておりませんので分かりませんが、北側 1000 人が 2 時間 30 分前入場開始でその 15 分前集合です。15 分前に 1000 人を超える人たちが集まってきてその 15 分の間に運営の方たちが全員チェックをしてくださって、入場開始してどれぐらいの人入るのかって私ついこの間あった時ちょっと見るようにしてたんですけども、15 分でほぼその列が解消して一般の方の入場が始まります。1000 人を 15 分で入場させる運営努力って大変素晴らしいと私は思います。その運営力をもっと活かしたらいかがでしょうか？ 今私が並んでいて大変って思うのは人が多すぎて混みあっていて折角丁寧に掲示していただいているもの初めての方たちが見れない。私たちはもう毎行行ってるからいいんです。声かけられれば担当じゃないけどこうですって私たちも対応するようにしています。だけれども初めていらした方たちが見えなかったとか会えなかったというのは人ごみの多さ故だと思います。調べていただければわかりますが私今年になってからも何度も「時間差で入れたらどうですか？」っていうこと提案させていただいてますアンケートで。これだけの運営力があるのであれば 5 分ずつ 3 つのグループに分ければ人が 3 分の 1、300 人で済むわけなんです、入り口。そこまでスカスカ 3 分の 1 になれば掲示物も見えますし、それから自分があの列に並んでいてちょっと今年悔しい思いしたのは限定グッズ販売、この日から販売しますとうとこに並びに来たんですけど列整理に間に合わなくて我慢して列整理に並んでたということもあります。なので時間差にすることによって売店の運営ももっと融通効くんじゃないかというふうに思いました。限定グッズのところにもう 30 分以上並ぶようなこともなく、こちらの列も時間差でき、その時間差で入った方たちが時間差で売店の方に並べばもっと運営も上手くいくんです。しかもこれまであの人数をあの時間で入れることができる運営力があるのであ

れば、もっと効率化図れるのではないかというふうに個人的に思いました。個人的な意見ですけれどもご検討いただければと思います。

磯田：非常に分析されたご意見ありがとうございます。長崎のところは私の勘違いもありましたので訂正いただきましてありがとうございます。ホームの方には一部自由席が残っているということが事実のようですが、訂正させていただきます。あとそもそもこの指定席化を誰が望んでいるのかという属性のところをもう少し突き詰めた方がよろしいんじゃないかっていうところは非常にいいご意見だと感じました。多分通常だとファミリー層とかライト層とかってところは見えてはいると思うんですけども、そこらへんのところを分析していますという方々を抽出することによって他の方のために棲み分けをして上手く利用するというのがご意見だと思います。あと時間差での運営であったり、仕組みというよりは運用のあたりが変えていけるじゃないか。仕組みを変えるのではなくて運用の中で変える力はあるだろうというふうなご意見もいただきましたので、その点も踏まえてクラブ内でさらに議論を深めていきたいと思います。

サポーターズズキさま：ズキです。サポーター応援エリアで年間チケットで応援しています。まず私の意見は指定席化大反対です。その前提で話します。ちょっともうこのアンケートきた時点で頭きちゃって冷静に話せるのか分かんないんですけど。

はっきり言ってこのアンケートきた時点で現場のサポーターの応援についても軽視しちゃってるんじゃないかって俺思ってます。大体並びが大変でクレーム来るのも分かるんですけど、昔早い者順で並んでた時の方がもっと大変だったと思うし今よっぽど楽になったと思う。それでも並びが大変だってなったらさっきの意見ように時間分けて100番目は何時に来てくださいとか、200番目は何時に来てくださってすれば大分短くなると思う。色々やれることあると思うんだけど一方的にサポーター側に押し付けてみたいな感じの印象を受けて俺もうすごく不愉快です。さっきから色々意見出ますけど棲み分けもやればいいこと。さっき社長さんの方も細かくエリア分けてやればいいんじゃないかって言ってましたけど、それも俺は反対。あんな広い自由席の中で全然席が取れなかったって去年満員になった試合何試合あるのかなって俺思うんですけど。本

当に席取れなかったのかなって思います。もし取れないんだったらクラブの方で指定席にアップグレードさせるとかそういうこともできるような気もする。色々やれると思うんです。今の仙台のバックスタンドの応援とかって俺より、前も言ったんだけどもっと昔のサポーターやってた先輩のサポーターたちが一生懸命作ったこの応援の文化で、これが仙台の攻めだと思うんです。なんでバックスタンドで応援してるかっていうと本当にピッチに近いから、選手に声が届くから。それは攻めだと思うのでやってるのに、それを猛威を削ぐようなことばかりしてくるっていうかそういうふうに捉えちゃう。旗振ってるから試合が見れないって、だから旗振るの止めてくれないかってこっちに言ってくるんじゃないって、そういう意見があるんだったら「こっちの方が試合が見えるからこっちに移ってください、ここはこういうエリアなんです」っていうふうな促し方もあると思う。こっちばかりこうやれって言われてる気がしちゃってしょうがないんで、俺の勝ってな意見ですけどそういう気持ちになりました、アンケートを見て。すいません、一方的に喋っちゃって。

磯田：冒頭申し上げた通り前提条件というか要件定義のところが緩いところもありましたので皆さんに余計な心配とか不安とか、先ほどご意見ありましたけど今年もう変えちゃうんじゃないかみたいなところで不安になりましたっていうご意見もありました。そういうところは冒頭お伝えしました中でもう少し丁寧にお伝えするべきだったと申し訳ございません、お詫び申し上げます。そのうえでご意見いただいたところとしては応援の文化。なぜあそこで応援してるのかとか、新たなサポーターの方も多いと思いますのであそこで応援している意味とか文化とか、そういったところも仙台の強みっていうところもご説明いただきましたしそういったことを大事にしてくのもこのクラブの良さなんじゃないかというご意見だと思います。他の方からもご意見あると思うんですけど運用のところでは変えられるというところ。あと座れないという原因がどこにあるのかっていうところを原因を突き止めるところ、そういったところもクラブとしても自助努力をしなければいけないと思いましたので、貴重なご意見をありがとうございます。ちなみに自由席が完売した試合って昨年は何試合ぐらいありました？

磯田：自由席が完売したのは2試合というところで。その2試合においてはそういった座れないということがあったというところがあります。

サポーターハヤサカさま：ハヤサカと申します。まずアンケートのさっき前提条件がふわっとしてるっていう話もあったと思うんですけど、そういうものってそもそもアンケートとしての体をなしていないんじゃないかってことで。

はっきり言ってしまうとこのアンケートって有効？ っていうところがあるんですけど。まずこういった色んな人の意見の集まる機会があるのであればそこで話をしたうえでアンケート調査もしますってやった方がもっといいようなアンケートが取れるんじゃないのかっていうふうに個人的には思いました。普通に考えればアンケートっていうのは前提条件をしっかりと固めなきゃいけないのでそのところは今後これだけに限らず、提起したいっていうものがあればこういう機会があるのであればそこで話をしたうえで、明確に示してもらったうえでやってもらった方が皆しっくりきたような結果になるのかなって思います。さっき社長の方からファミリー層の方々の話があったと思うんですけど、自由席を指定席化するんじゃなくて逆に指定席のエリアの一部とかをファミリー層向けに販売のエリアにしてみるとか、そういった逆転発想、そういった感じの方向の話とかって上がってないのかなっていうことで。例えば自由席南の方の一部をそういうふうにするっていうのも一つの手だとは思いますが、自由席の方じゃなくて指定席の方の中でのファミリー層向けの販売エリア、あとは棲み分けをしっかりとしてもらえないのかと思いました。

磯田：まず一つ目の方、議論の進め方に対するご意見だと思います。進め方で透明性があつたうえで話を進めるとか、アンケートを取ってから議論をするとか色んな進め方はあるんですけども、そういったところで疑問に思われたということでご意見いただいたので今後のミーティング進め方の参考にさせていただきます。あと今ご意見としてありましたのが指定席エリアを逆にファミリー指定席にするとか、そういったのもアイディアの問題。こっちは仕組みの話になるので仕組みをそういうふうに変えることも一つの案だろうということで貴重なご意見をいただいたと思いますので、そういったことも含めて皆さんからご意見をいただいてクラブとしてどういうふうな方向性へ持ってくかってところを

詰めていきたいと思いますので、貴重なご意見ありがとうございました。

サポーターニシムラさま：プレーオフの岡山戦の時なんですけど、私岡山の境とか一番端っこにいて応援してたんです。ピッチ内アップが始まるぐらいの時間帯にうちと同じように係員の方たちが席詰めタイムっていう紙を持って座れない方たちと一緒に歩いて、「座れない方いらっしゃるのでそこ荷物だけだったら詰めてくれませんか？」って直接声を掛けて席詰めまで行っていたんです。ここまで徹底しているんだ素晴らしいというふうに思いました。なのでもしかすると荷物置いてお手洗いに行ってらっしゃるとかで来てますってことはあると思うんですけど、本当に席が無い時であればそういう声掛けも有効なのかと感じました。

磯田：席詰めをなるべく徹底しようというご意見です。

サポーターフジムラさま：フジムラと申します。シーズン前の忙しい時間にお時間いただいて本当にありがとうございます。先ほどの女性の方の意見と関わる部分あるんですけど、やっぱりどれぐらい不満を上げてる方のリサーチというか。さっき社長の方からファミリー層とかライト層とか出てたんですけど、年に何回来てるとか立って応援したいとか座って観たいとか何時頃試合に来てるとかとか。このへんでリサーチしていただいた方がもうちょっと明確な改善点を出せるというか一つ思ったので、すごく社員の人数も限られてる中で大変だと思うんですけど是非。会社の中で大変だったらこのアンケートすごい回答率低くてとかも言われてるのも、是非市民後援会とかサポーターも上手に使いながらやってもらえるとお互いに助け合ってできるんじゃないかと思うんで是非よろしくお願いします。

磯田：不満を持ってる方の客層セグメントをもっとしっかりと捉えてより声の元を深掘りして聞くべきというところ。あと皆さんにサポートいただくべきということのご意見だと思います。

サポーターウエタケ：ウエタケです、よろしくお願いします。指定席と自由席っていう席の2つの意見が出ているんですけど、ゾーン指定っていう考え方は無いのか。天皇杯とかレディースの時には座席の自由とか指定ではなく、このゾーンの中で席を自由に座っていいですっていうゾーン指定っていうのがあるんで

すけども。というのはご家族連れとか初めて来る方とか招待券で来る方とかだと、やはり先程の自由席が完売になってる時に招待券を貰って初めて来る方が、チケットもあるから普通に家族とかで並んで座れる、仲間同士で座れると思っていざスタジアムに行ってみたら、「席飛び飛びなんですけど席は空いてますから座ってください」って言われると「もう行かない」っていう感じに繋がってしまうと思うんです。私普段ホームゲームでボランティアをしているので完売したような席種の時とかに大体試合始まる 30 分とか 1 時間前になるとお客様から席が無いって言われるんですけどっていうクレームが無線で飛んだりするんです。これが座席の方見に行くと飛び飛びで空いてたりはするんです。2 人座って 1 つ空いて 3 人座って 1 つ空いてみたいな形になったりするので、そういうことを考えると例えば町内会とかで招待券貰ったから来ましたっていう方たちのライト層というか初めて来た方たちとか、あと先ほど言ったみたいなファミリー向けみたいなところの一部エリアを座席指定とか自由席っていうのではなく、名称なんてするかは別として例えばライトゾーン指定みたいなものとかにしてこのエリアのところはそういう方たちがそのエリアの中で自由に座っていいですっていうところの席を中間のところの設けたらいいのではないのかなっていうのが思ったので、ちょっと検討材料に含めていただければいいかなと思います。

磯田：市町村招待とか団体招待とかっていうのをたまにありますけども、そういった方々をセグメントしてゾーンに入れるべきっていうご意見だったり、クレームというか今回問題にしてる方々の属性をはっきりさせてその方々をゾーンで良い意味で囲むのも一つの手段というご意見いただきましたので、それも会社の検討とさせていただきます。

サポーターカツさま：先ほどもありました席詰めに関してですけど、今警備会社の方札を持って席詰めにご協力お願いしますって言うんですけどもあんなんじゃ何の効果も無いです。とっても小さい声でご協力お願いしますって言うだけで、それだけではもう何の効果も無いです。それとあと待機列の横入りに関係ですけども私出張が多いもんですから年チケじゃなくて一般の入場で入るんですけれども、実際これはなされていません。一般の方で並んでいると「ごめん遅

くなった」とか「いいじゃん、ここ入ればいいじゃん」これが現状です。まだまだ努力が足りないと思います。だから運営の方々も警備会社の方々とも連携してもっと努力していかなければこういったのはもっと少なくなるのではないかと思います。

磯田：改めてスタッフの運用のところでこういった問題が解決できるだろうというご意見だと思います。

サポーターチバさま：チバと申します。この後多分出てくる話と関連してくるんだと思うんですけども、七北田公園の指定事業者になられた話とちょっと関連してくると思うんですが、先ほど時間差入場っていう話がありました。

これ上手いこと例えば七北田公園を我々で使えるのであればそこでイベントを展開しそこで時間を上手いこと活用してもらって、時間差入場ここに例えば 100 番までの人を 10 分後に再度集まってくださいという方を一度そちらに流すということが一つできるんじゃないか。例えば今まで北側のエントランスでイベントをウルスラさんとかの発表があった時に、かなり狭くてご父兄の方もちょっと近すぎて見えない。もっと多くの人に見てほしいのに並んでいることによって見ようとしてもらえないというのがちょっとあったようにも見受けられたんです。なので入場の待機列をもうちょっと分散化させることで上手いこと繋げてほしいというふうに考えました。あとお話があったファミリーゾーン、かつて 2000 年前後だったと思うんですが A 北がそんな感じだったと思いだしましたんで補足させていただきます。

磯田：この後の話になりますけども七北田公園を活用しての時間差入場におけるイベント等の上手いやり方、七北田公園を活用したところっていうところのご提案ご意見だと思います。指定管理っていうところもありましたのでそういったことができるように今後クラブとしても 4 月以降の管理の中で良くしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

時間 10 分以上オーバーしましたので最後の議題の方に駆け足ですけどもご説明させていただきます。

指定管理のところ私の方で引き続き説明させていただきます。今年の令和 7 年 4 月 1 日から指定管理として取りました。仙台泉 SPORTS PARK COMSORTIUM という

う構成団体名取らせていただきました。内容を紹介させていただきます。あくまで対象施設は七北田公園全部ではなくて一部、スタジアムと体育館の管理者になったというところでご承知おきください。まずコンソーシアムメンバーの紹介をさせていただきますが、ベガルタ仙台が代表企業となっております。それで5つの企業で構成法人を作っております。一つはシンコースポーツさんという今、全国の150の自治体と600の施設、体育館とかそういったスタジアムものとか公共施設を運営しているプロフェッショナル。あと施設の清掃とか管理とか機械整備のところではキノシタコミュニティさん。あと前田建設さん、ゼネコンさんではありますが施設のバリューアップ、価値の向上をさせるためのノウハウを持っていまして、昨日も富士フイルムスーパーカップやっていたけども国立競技場とかIGアリーナとかああいう大型の事業の官民連携事業、日本で一番色んなことをやられている企業さんというところと、あと最後エスコンジャパンさん。エスコンさんはご存知の通り北海道のエスコンフィールドを軸としましてFヴィレッジというスタジアムを中心とした街づくり、スタジアムだけじゃなくて街の方を作るというところでもディベロッパーさんと非常に大きい会社さんと当社で連携して組んだというところなんです。進化するSPORTS COMMUNITY PARKというのをを計画目標として更に今皆さんから色々ご意見いただいたんですけれども、このスタジアムと七北田公園をどういうふうに進化させていくかというところを目標としております。運営方針、スタジアムと体育館のしっかりした運営っていうところは当然なんですけれども、やはり足りないのは日々の七北田公園全体の賑わい創出というところなんです。試合の日もそうですし試合が無い日もしっかりとこの公園が賑わったうえで、皆さんにバランス良く楽しみだったり色んなものをお届けするというところ。そういったものを運営方針として掲げています。具体的に何をどういうふうにするかっていうところなんですけれども、日常的に施設に足を運んでもらうためにもうちちょっとこの施設をコワーキングスペースのように開放していくと、実際やられていますけどもどんどん開放していきたいというところで体育館で色んな教室をしたり研修室で子育てプログラムを実施したり、このスタジアムをもうちょっと皆さんが会議とか学習の場とかテレワークとかそういった形で活用できるような利用の方



法を設定してどんどん宣伝していきたいと思ってます。

あともう一つ試合じゃない日ですけども、試合が無い日ウォーミングアップ場を子どもたちのキッズスポーツパークに開放したいと思ってます。今宮城県内仙台市は屋内の遊び場が少ないというところでかなり問題になっていてニュースにも連日取り上げられておりますけれども、そういったところの課題解決にも資するものかなと思います。色んな人が訪れやすい施設へというところで、もう少しスポーツ施設としての解放されたスポーツ施設にしていきたいというふうに思っております。トレーニング室をリニューアルしたり、専用レンタルロッカーを設置してここでトレーニングをしやすくするとか、色んなランニングできるためのステーションにするとか、そういうことをとにかくこの場で過ごしやすいような運営をしていきたいというふうに思っています。トレーナーを配置したりスポーツ教室をたくさん開催したりというところであったりトレーニング室をリニューアルして、多分ここは一番皆さんご関心あるかもしれないけれども、スタジアムのトイレ改修も我々の方で指定管理取りましたのでその費用を色々やりくりしてトイレ改修の方に費用を充てていきたいと思います。実際3年間で12基っていう非常に少ない数で一旦提案しているんですけど、この後また別で色んな予算の動きもあるのでもう少し多くのトイレが改修できるかと思っております。それはまた後日確定しましたら何らかの形でお伝えしたいと思いますが、ユアスタ再開した時には和式トイレがぐっと少なくなっているという環境を目指したいと思っています。あとやはり七北田公園今でも色んなこと楽しいことやっていて色んな活動をしているんですが、やはり発信力が少ないっていうところもありましたのでここはベガルタが発信することによってサポーターの皆さんにもリポストして発信してもらうことによって色んな形で情報発信をしていきたいというところで、今後色んなイベントやっていきますのでどんどん発信のお手伝いを、これベガルタだからできる、ベガルタはサポーターの皆さんがいてくれるから発信力が強いと思ってもらえるように、是非皆さんにもSNSでの発信をお願いしたいと思います。この3年間の指定管理でとにかく七北田公園を中心として泉中央地区全体の活性化に貢献できるということが我々の最大の目標になりますので、試合がある日もない日も全体で賑やかにし

ていくために、この街がもっと元気になるために指定管理を取ったというところ。具体的にはもうちょっと今までやってなかったようなイベントです。パブリックビューイングとフードフェスを同時に開催したり七北田公園で。勾当台公園が今工事改修で使えないというところでフードフェスの行き場がないなんて話もありますので、試合がない日にフードフェスやってパブリックビューイングもしながら、芝生も開放して青空ヨガもしてサッカー教室もしてみたいな色んなことをオールインクルーシブでやれたらいいなとか。ランニングステーションを設けたり、リレーマラソン大会も今仙台市内陸上競技場でやってますけどそういったところで折角七北田公園にランニングコースあるのでそういったところで訴えたり、色んなイベントをやって盛り上げるということがこのクラブが考えてることです、こういったことを目指していきたいというふうに思います。時間が無いので駆け足での説明になりましたけども皆さんの中で指定管理取ってもうちょっとどういうふうになるのかとか、こんなことができるのかもしご質問があればお伺いできる範囲でお願いしたいと思いますがいかがでしょうか？

サポータームラカミさま：ムラカミと申します。指定管理者、七北田公園が使えるようになったっていう認識ではいるんですけど、試合の日に限った話をさせていただきたいんですけど七北田公園に行くのに自分みたいにゴール裏とかバックスタンドで応援してるスタジアムから行くとなると、七北田公園に行くルートがほぼ無いんです。

一回ぐるっと散歩してみたりしたんですけどビジターのゴール裏出入り口、あそこを通っていかないと七北田公園に行けないっていうのが分かったの。あと他に入るとしたらファミリーマートのところから線路の脇を通ってきて駐車場のところから入るっていう 2 つの出入り口ぐらいしか無いのかなって感じでした。ここのユアスタのオフィスの目の前の駐車場から高架下通って七北田公園に行くっていうのもあるんですけど多分試合の日は塞がってる。塞がってるのか塞がってないのかあれなんですけど、そこらへん出入りするのをどっから入ればいいのかっていうのをもっと周知してもらえれば、七北田公園に試合の日にキッチンカー出したりするのか分からないですけど、待機列の時間解消とか

に使えるのかなっていうふうに思いました。

磯田：まず前提として冒頭申し上げた通り我々が指定管理取ったのが公園、緑色の公園全部なんですけどそのうちの体育館とスタジアムだけなんです。一部だけというところの前提がちょっと、七北田公園全体は仙台市緑地協会というところが持っているので、その中で我々が一部の施設を管理させていただくということになりました。今まで我々はスタジアムをお金を払って利用するユーザーだったんです。ユーザーだったのでお金を払って使うだけだったのが今後管理する立場になりましたので、公園を管理されている緑地さんと一緒に一体になってこれからどういうふうにスタジアムを活用運用していったら、仰るように試合の日に一体感が無いというところがありますのでそれを課題解決できるのかっていう議論のスタートラインに立てたというところであります。なので今これができるできないっていう具体的には申し上げられないんですけども、そういう意味では一步前進して我が事化にしてしっかりとクラブが主体となってその問題に取り組めるようになりましたので、ちょっと時間はかかるかもしれないんですけども少しずつ期待していただければというふうに思っております。他に指定管理運営の方で質問とか、いかがでしょうか？

チャットの方で例の座席の関連の方は結構色々いただいていたので、そこは今後の参考ご意見としてさせていただきますのでよろしくお願いいたします。最後になりますけどその他のところでは時間が少し限られてしましまして無いんですけども、今日のこの3つのテーマ以外のところで何かご質問とか、この機会にちょっと聞いてみたいというところがあれば、ご質問を時間限られますけど受けたいと思います。

サポーターワタナベさま：ワタナベアキトと申します、いつもお世話になっております、座ったままで失礼させていただきます。私の話は普段サポーターの活動とかと毛色が違うんであれなんですけど、会社の経営、根幹に関わる話なので安達監査役にお伺いしたいと思います、まず。安達監査役が昨年4月に就任されましたけどその前にいわゆる横領事件、着服事件がありましてJリーグから500万円罰金を受けました。その中の罰金を受けた後の会社のリリースで内部統制の改善に努めるというリリースが一言書いてありました。でもそれ以降に何も

それに関する発表とかが未だに無いんです。内部統制の構築ってのはベガルタ仙台資本金 5 億円以上あるんで大会社なので会社の方で義務付けられてるんです。この点について前任の長崎監査役から何かしらこういうふうにフォローアップをしましたとか、具体的にこういうことをしましたっていうのを、自らがやったもしくは長崎監査役からそのような事実の引継ぎを受けているということをまずお尋ねしたいと思います。なぜこういうことを聞くかということと去年練習場のクラウドファンディングを行いましたよね？

お金に関する問題とかサポーターから広くお金を集めなきゃいけないのに、その前にそういうコンプライアンス的にちゃんとやってないのにクラウドファンディングをやってしまったというのはコンプライアンス上問題があると思っています。その点についてどうお考えかを安達監査役お答えいただければと思います。もう一つ補足させていただきますと令和 4 年度に会計監査人だけ登記が 11 ヶ月も遅れるということも発生しておりますので、色々とコンプライアンス上まずいのではないかと、これも会社法違反ですので他の役員の登記とかは 1 ヶ月くらいで済んでいるのになぜ会計監査人だけ 11 ヶ月も遅れたのかということもありましたので、その点についても前任者の元のことでありますけど板橋社長の就任前のことではありますけど、どのようにお考えかをお話しいただきたいと思います。長くなりましたけど宜しくお願いいたします。

ベガルタ安達：それではこちらからお話をさせていただきます。監査役の安達と申します、よろしく願いいたします。昨年の件につきましては私就任する段階で前任の長崎監査役から色々お話は頂戴しております。そういう中で私が 4 月の株主総会後に就任しておりますが、その段階で会社内のシステム、申請の内容ですとか申請の体系あるいは現金の取り扱い等々について板橋社長を中心に北畠専務と内部の経営企画部の方でシステムを変えまして、必ず申請を行ってそれを決済をしないと実際に取り扱いができないっていう厳しい申請状況、決済状況のものに変えております。そういう中で私が就任してほぼ 10 ヶ月から 11 ヶ月ぐらいになりますが、今のところ順調にそのへんは浸透しておりまして一人一人の社員がそこに基づいてしっかり決済後に全て支払いとかあるいは取り扱い、契約も決済後に取り扱いをするというふうに、以前どういう状況だったか

は 100 パーセント知っているわけではございませんが、そのへんはきっちりやれるような形に変わってきていると思います。そういう中でご心配なところたくさんあるかと思いますが改善はされてきているという認識でおります。私の方からはそういうことでご了解をいただきたいと思っております。また会計監査人の登記の件につきましては私も存じ上げませんでした。そのへんにつきましては確認のうえまたお話をさせていただく機会があったらお話をさせていただきたいと思っております。現状ではそういったところの違反行為はないというふうに認識はしておりますが、過去の事例につきましては私の方でも再度確認をさせていただきたいと思っております。

磯田：私からも補足させていただきますと、該当の部署なので経営企画とコンプラ担当しているのでお話ししますが、2023 年色々な事件でお騒がせして申し訳ございませんでした。その中でクラブで対応したこととしては申し上げた通り内部統制を再度組み直す、しっかり作り直すっていうところをやっております。J リーグの方から指導を受けて、また弁護士チームを含めた外部の調査チームも入ったうえでしっかりと対応したうえで中身を見られて罰金も申し上げた通り 500 万というところで払って、そういう形でしっかりと皆さんの外部の方からも監査を受けた形で対応しているので全く何も応じてないというところではないというところが一つ。その中で発表してないじゃないかというお話ありましたが、どうしても中で行われたことの事案でありますので細かくお話できるところが非常に限られているというところもありますので、全てが全て詳らかに明かせるものではないというところはご了承いただきたいというところで。会計監査人の登録に関しては私も引き継ぎのところで遅れているので急いでやったというところがありますがそれは事実ですので、そこは今後会社として内部統制はしっかりしていくというところでご理解いただければと思います。

サポーターワタナベさま：ただやっぱりそのへんはちゃんと公表していかないと信頼が得られないと思うんです。はっきり言ってクラブの信頼って。フジテレビお台場方面見てください。はっきり言ってこういうの見てるとあまり大差ないじゃないかっていうふうに感じてしまうところがあるんです。だからもう少し詳らかに喋れる、もちろん板橋さんのお話も理解はしているんですが、ちゃ

んとやることをやって概要だけでもいいんです。こういうふうに決済システムを変えました、決済システムの詳しい内容なんか知らないです。それをちゃんとやっておかないと仙台市の市民からもサポーターからもスポンサーからも信用を失うし、そのようなやばい会社にスポンサーしたいって思う会社現れなくなってまた経営危機とかになります。そのへんをちょっと強く懸念しています。それによって最終的にまたクラウドファンディングの募金、サポーターにツケが回ってくるのは本当に勘弁なので。もちろん安達監査役はじめ皆様の努力には敬意を表しますが、そのへんをしっかりとやっていただかないと本当に応援とかそれ以前の話なので。そのへんを改善してそれをちゃんと詳らかに公表できることはちゃんと公表するというのを、情報開示もするというのをそれはアンケートとかもそうですけど、他の件もそうですけど、やっていただくということをしていかないとサポーター興味ないからいいだろうとかそういう舐めたことは通用しないと思うので、大変長くなって申し訳ないんですがそのへんはしっかりと気を引き締めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

磯田：ご意見として受け止めさせていただきます。

サポーターサトウさま：サトウと申します。ベガルタ仙台の市民後援会さんとの文献について質問したかったんですけど、明後日市民後援会さんがやるサポーターカンファレンスというのを予定してるみたいで私出てきますけども、何回かやってるやつ参加してますがどうもクラブの方がササキさんが言ってるんですが、クラブの方でどなたかが必ず出席していただいてるんだけど何回か打診してるんだけど一向に最近クラブの方がお見えになってない。特に話すことも何もないから出ないとそういうことをカンファレンス後援会さんのお話では聞いてます。その点は板橋社長とか北畠さんとか伺いたいんですけどそのへん拒絶してるものが何かあるのか、色んな理由でそういうふうに敢えて出たくないという理由あるのかお尋ねしたいとご質問させていただきます。

板橋：市民後援会の関係です。ご案内の通り従前こういうクラブミーティングというのはございませんでした。市民後援会のサポーターカンファレンスの一つであります。その段階で私も最初ここに着任した時にそこに出させていただいたんですけども、対象者とテーマと仕事の進め方というところでかなり立場上

の違いがあるなというのが正直な感想でありました。何回かお話をしておりますけれども、まず我々サービス業でありますのでお客様の声をしっかり受け止める、これが基本であることは当然であります。これまでサポーターカンファレンスの中では特定の方々のご意見をまとめてそれをクラブに対してぶつけるというやり方でやってこられたと思いますけど、それがいわゆるスタジアムにいられている 1 万数千人という方々の総意なのか。あるいは一部の方々のご意見なのかっていうところがいわゆる検証不可能という状態で長年続いてきたというふうに認識しています。それがあまして、これ私の方でお話をさせていただきました。やはり色んなご意見をお持ちの方の全体像を把握するというのが我々にとっては極めて大事である。

そのアンケートを取ってまずは全体の皆さんの考え方を把握する、これが必要不可欠だと思ってます。その段階ではいわゆるどういうやり方でそれを調査するかという話になりまして、我々が持っております J リーグ ID を使って調査をするというのが一つのやり方でありました。今回のアンケートもそうでありまして 9 万人の登録の方々に対して問いかけをしてそこからご回答いただく。これ統計的にはある程度の母数があって有意性というのが担保されるわけでありまして、今回トータルで 2000 人弱というところなんです。一般的には 2000 サンプルの差があると有意性が乏しくなってくると言われます。そういう意味では一定の傾向地としての有意性はあるだろうと思っております。こういう全体像を把握する中で本日のやり取りでもありました賛成の方の割合、反対の方の割合、またはその中の自由記述による主なご意見、これをまず把握をしてそれを元に客観的な立場で色々ご意見を交わすというのが一番ニュートラルなんでしょうと思います。我々がクラブミーティングというのを立ち上げて今回 3 回目を迎えているのはそういう基本認識によるものです。市民後援会は市民後援会で独自の立場でありますのでそのやり方について我々の方であだこうだ言う立場ではもちろんないわけでありまして、後援会は後援会の管内で無事におやりになる。これは一向に構わないわけでありまして、我々の中で議論していかなければいけないのは株式会社としてのベガルタ仙台の経営に関わる部分。例えば予算の組み方でありましてとかあるいは強化の考え方、更には監督の

人選とか選手の使い方こういったところについてはクラブの経営の根幹に関わる部分でありますので、我々もこれまで専門家の方からあるいは現場の方々と意見交換をしたうえでクラブの将来の経営の観点から考えればこうあるべきと、そういう案を作って株主の方々のご了解を得てその執行を担うというのが私の立場であります。そういう意味ではそのクラブとして株主の意向を反映して運営をしていくという考え方と、いわゆる市民後援会で独自のお考えというのは必ずしも一致してないところがありますので、混在させるよりはそれぞれの目的、効果、こういうものに独自の立場で運営をするというのが正しいやり方ではないかと考えて今のようなやり方になっております。もちろん我々の中でも市民後援会の中で例えばクラブとして色々お世話になっているところが多々ございます。スタジアムで実際に試合をする際にボランティアの方々のご協力なしに我々は事業ができないわけでありまして、案内ですとかあるいはリサイクルのゴミの分別収集のお手伝いとか、いわゆるファンクラブの対応とか色々な部分でご協力を頂いておりますのでそれについてはこれまでもそしてこれからも十分に連携を取りながらしっかり協力してやっていきたいというところは変わりません。ただそれ以外の部分については独自のお考えもありますので必ずしもこちらからああしろこうしろというそういう立場ではないというのが現状の考え方であります。

磯田：他にご質問とかがあればと思いますけども。では後ろの方。

サポーターミツハシさま：ミツハシです、よろしくお願いします。現場っていうか生の声もっと聞いてほしいなっていうのがあります。アンケートの回答で全部今の社会でネットとかの回答とか掲示板とかの閲覧を見てそれを見て反応してるのか、思い込みしてるのかっていうことになってしまいかねないです。もっと現場の生の声を色々聞いてほしいし、こうやって話し合いすれば色々な意見だって過去のことだって色々なことが出てくるはずなんです。

なぜそういう話し合いの場って生の声を聞こうとしてないのかんっていうのがすごい残念だと思ってます。なおかつ後援会にしろサポーターにしろなんでもそうなんですけど、フロントとクラブとサポーターと皆一緒になって共闘して初めて J1 昇格掴み取れるんじゃないかと思ってます。そういうところで「違う



考えでバラバラなんです、でも J1 昇格目指します」ってそれが正しい興行主の姿勢なのかなって正直思ってしまう部分があるんですけど、それ非常に残念なので出来る限り今年 2025 年は本当に皆同じベクトルを向いて皆で話し合っとなんとか J1 昇格しよう、頑張ろう、そういうクラブになっていきたい。誰もが皆そう思ってると思うんです。そこらへんをもう少しなんとか改善できないものかと非常に歯がゆい思いでずっと 1 年ぐらい見てました。そのへんの部分は非もう少し、考え方が違うとかそういうのってそれない。それしか今頭に無いです。

磯田：色々今日含めて皆さん生の声を聞く、スタジアムとかでも色々声を聞く、ご進言をいただく方もいらっしゃいます。スタジアムだけでなく本社に来られる方もいらっしゃいますので、色んな方の生の声はしっかりと聞きながら運営していきたいと思います。

サポーターニシヤさま：ニシヤです。クラウドファンディングのその後どうなってるのか全然ご報告ないので、クラブハウスの延長とか経過報告されるとホームページに載ってたんですけど、それホームページに載せていただければと思うんです。

磯田：報告が遅くなっており申し訳ございません。少し遅れておりますが春先には新しいクラブハウスとグラウンド場をお披露目できると思っておりますので、もう少し詰める時間を頂いてというところで。当初より遅れているということは事実ですので、またちょっと報告が遅くなっていることはお詫び申し上げます。しっかりと皆さんから頂いた資金を活用してこうなりますということをしつかり報告していきますので、もう少々お時間ください。

サポーターハヤサカさま：何度もすいませんハヤサカです。先ほどサポーターカンファレンスの件で生の声を聞いてほしいという意見があったと思うんですけど、それについてさっきの社長の答弁もあったと思うんですけど、会場だけじゃなくてやっぱり生の声を聞いてみたいなっていうような考えになんないのかなってちょっと思ったのでその回答をいただきたいです。

板橋：先程もお話ありましたが我々も皆さんの意見を聞くということはサービス業でありますので基本として非常に大事であると思っております。そのためにこのクラブミーティングもその一つでありますし、毎回試合ごとにア

ンケートを取っているというのもその一つでありますし。自由記述という形でランダムにご意見をいただくという方もいらっしゃいます。色んな形でお話をいただく機会はあると思っています。従ってやり方については色んなやり方があるとは思いますが、我々が皆さんの声を聞くつもりが無いとかそういうことではございませんのでご意見がある方はいつでもおいでをいただきたいと思います。その中で認識の違いというのがあればそれはしっかり話し合いをするということだろうと思います。結果的に我々が目指すところは J1 であつたりあるいはクラブ自体が地域に愛されて皆に支えられるようなクラブになる、皆にとって観戦環境が改善されて皆が喜ぶようなそういうスタジアムになっていく、これが皆の目指すところというのは変わらないと思っておりますのでその進め方の問題でありますので、ご意見はこういった機会はもちろんはじめとして色々な形で聞いてまいりますのでご意見はいただきたいと思います。

磯田：ちょっと時間がオーバーしているのであと 2 人、WEB で手を上げている方お 2 人当てさせていただいてそこで締めたいと思います

サポーターマツダさま：松田です。今自分関東に住んでいましてなかなかホームゲームに行く機会が少なくてアウェイばかりの現状なんですけども、国立競技場とか関東のスタジアムでホームゲームの開催を検討していただきたいと思ひまして。そうすれば新たなファンの獲得とかチケット代とかも直接ベガルタの方に入るので、国立の試合も来年あたり検討していただければという意見です。

門間：現状今年は開催予定はないんですけど今後に向けて検討はさせていただきます。

磯田：非常に混みあっているというか実は色々かなり人気で取りづらいというところも正直あるというのはかなりあります。コンサートも含めて入っているところもあります。

サポーターヤマキさま：経営的な部分のご質問を 2 点ほどなんですけれども、まず 1 点目が先日河北新報さんで出てたんですけど 25 年度の予算のところです。拝見するとフロント経費、多分これいわゆる販管費のフロントさんのお給料とかの部分だと思うんですけども、ここが 1.5 億円ほど増額の予算が組まれ

てたんです。これって結構 1.5 億円ってこのクラブにとっては大きい金額かと思うんですけどもここを増額している理由と、あとはその増額によって営業力強化やスポンサーをとかそういう部分なのかなと思うんですけども、そのへんの理由とあとはそこから考え得る効果というのを教えていただきたいというのが一つと、あとチャットの方でも色んな方からご質問きてますけれども、やはり今年に限らずですけども近年ユニフォームスポンサーの撤退とかユニフォームだけじゃなくスポンサー自体を企業さんというのも結構多い。特に大口のところ多いのかなというところで、その要因と今後の対策というところどのようにお考えなのかというところの2点をお伺いしたいです。

磯田:財務周りなので私の方でまとめて2点の回答をさせていただきますけど、まずこの間の記者会見でも申し上げたんですけども、その他収入と当社の販管費のところが 1.5 億円くらい増えておりますがこれ先ほどご説明した指定管理のところ公開されていますけども、税込み 1 億 6300 万円、税抜きでいうと 1 億 5300 万が指定管理料でして、それが含まれての増額ということになっております。指定管理のところは利益を出すことが目的ではなく先ほどご説明した通りスタジアムと七北田公園並びに泉中央地区の活性化が目的ですので、ここをブックにより交流人口を増やす、サポーターの方が増えていただくにはその満足度を上げるっていうところ効果を狙ってというふうになっております。あと最後のご質問というところでスポンサーのところのご質問ありましたけれども色々ユニフォームのところとかご意見もいただいておりますけども、まず我々としてはもちろん毎年更新のところと離れる契約、スポンサーさんもいらっしゃるしそれは大小ありますが、我々としては常日頃、主要株主の方々であったり社外取締役も宮城県仙台の財界政界の皆さんからしっかり支えていただいておりますので、そういった方々としっかりと連携して一丸となって今回もしっかりと乗り越えるというところを確認し合いながら常々経営を進めているというところです。

1 個抜けたからそこで大崩れしていくのかというのは、チームもそうですけども 1 人選手が抜けたから崩れるのではなくて抜けた選手の穴を皆でカバーし合おう、1 人で全部はカバーできないかもしれないですけども皆で支え合ってカバー

しようというところはチームも経営も変わらないと思っております。うちは幸いにも多数の株主様がいらっしゃいますし多くの地元のスポンサー様が支えていただいておりますので、そういった方々がそれぞれに知恵だったりアイデアだったり場合によっては自治体の色んなリソースを投げていただいて経営してまいりますので、サポーターの皆様には是非お願いしたいのはこういう時だからこそ一丸となって、先ほどのお話にもありましたけれども乗り越えていこうというところで、今年はJ1昇格するということで強化費も2億追加してやっておりますのでそれを信じて皆さんでスタジアムを埋めていただくとか宮城スタジアム行きづらいかもしれないですけれども足を運んでいただくとか今よりビール1杯多めに飲んでいただくとか、そういったところで色々な形で共に支えていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

時間も15分ほどオーバーしておりますのでここで締めたいと思います。

最後社長からの一言で締めさせていただきたいと思いますのでお願いします。

板橋：長時間にわたって熱心なご意見ありがとうございました。我々Jリーグというのは皆さんご承知の通り本当にそれぞれの地域を支える活力ということでどんどん増えてきて、実に全国で60チームになっております。そのそれぞれが昇降格を争って今は必死に戦っているという状況です。Jリーグ全体とすれば世界、特にヨーロッパを照準しておりますのでチェアマンがよく言うのは「もっと大きくならないと世界に置いていかれる、100億200億クラブを目指す」という大変壮大な思いで進んでおります。大都市あるいは大企業がバックにしている企業様の場合はそういうものも視野に入ってくるんだろーと思いますけれども、大方の地方のクラブはなかなかそれはハードルが高いというのは正直なところだと思います。いわば地方クラブは地方クラブとして自分たちの強みこれを見出して独自の生き残り戦略を考えていかなないとなかなか生き残るのは難しいという状況だと思います。そういう中で我々は戦ってきているわけでありまして、トップチーム、人心を一新したお陰で昨年皆さんに支持していただくようにV字回復をしております。今シーズンまたそれを更に加速してなんとか皆の悲願である我々のいるべき場所に戻る、そういう年になっております。トップチームもそういう決意のもとに取り組んでおります。我々クラブ自体

も先ほどもありました大変厳しい状況の中にはありますけれども、このトップチームの頑張りを全力で株式を持っている株主全体で支えていくというそういう意志を確認しております。皆でベガルタ仙台を本来いるべき場所に押し上げるというそういう思いを共通に持って頑張っていきたいと思っております。これから今日いただいたご意見も踏まえまして見直すべきところはしっかり見直ししながら、しかし歩みを止めることなくかつ皆が笑顔になれるその日に向かってしっかり歩いていきたいと思えます。本日は色んなご提言ありがとうございました。お時間をいただきまして本当にありがとうございました。

磯田：皆さんお忙しいところお時間ありがとうございました。以上をもちまして第3回目となりますクラブミーティングを終了したいと思います。どうもありがとうございました。円滑な議事進行にご協力ありがとうございました。